

松本市の景気動向

— 中小企業景気動向基本調査 —

【平成27年8月】

■調査概要（データ対象期間：平成27年8月1日～8月31日）

- 調査期間：平成27年8月31日～9月25日
- 調査対象：市内中小企業200企業に対して郵送等によるアンケート調査
- 回収状況：建設業25企業、製造業23企業、卸売業17企業、小売業36企業
飲食業18企業、サービス44企業（運輸、不動産仲介業を含む）
<合計163企業>
- 調査項目：8月の売上・仕入・営業利益・受注量・受注単価・販売(客)数・販売(客)単価
状況向こう3ヶ月の業況見通し（DI値を集計）

(注)DI (Diffusion Index) 値は、売上などの各項目についての判断の状況を示す。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向きを表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

※DI=(増加・好転などの回答割合)－(減少・悪化などの回答割合)

松本市・松本商工会議所

概況

業況DI・水準DIともにマイナス幅が拡大

1. 業況判断

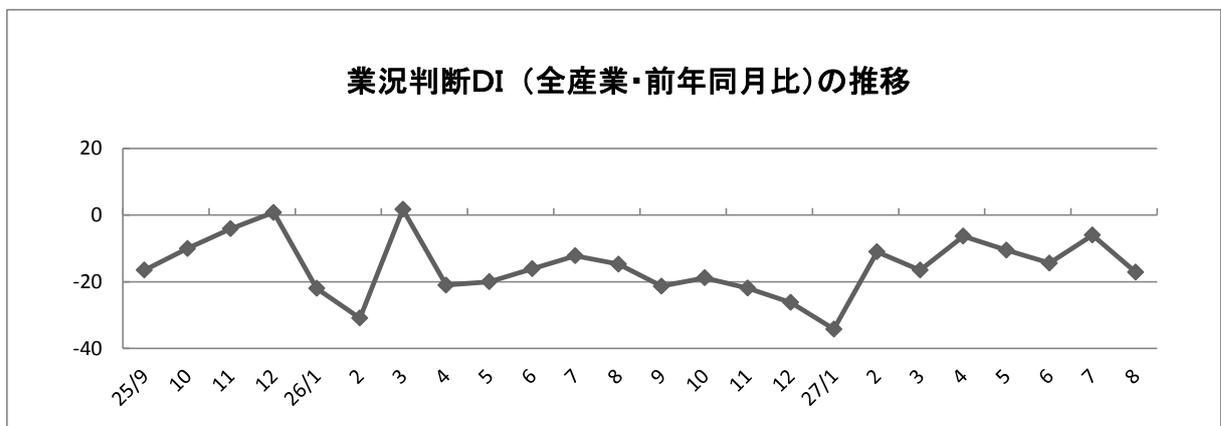
- 全産業合計の業況DI（前年同月比ベース）は、前月（▲6.0）よりマイナス幅が11.1ポイント増加し、▲17.1となった。業種別では、サービス業、製造業がプラスからマイナスに転じ、卸売業は0からマイナスとなった。飲食業、建設業はマイナス幅が減少し、小売業はマイナス幅が拡大した。
- 全産業合計の水準DIは、前月（▲10.9）よりマイナス幅が5.7ポイント増加し、▲16.6となった。業種別では、製造業はプラス幅が減少した。飲食業はマイナスから0となり、卸売業は0からマイナスとなった。建設業はマイナス幅が縮小し、サービス業、小売業はマイナス幅が拡大した。

業況判断DI

	業況[前年同月比]				今月の水準			
	好転%	不変%	悪化%	DI	良い%	普通%	悪い%	DI
合計	12.3 (15.2)	58.3 (63.6)	29.4 (21.2)	▲17.1 ↓ (▲6.0)	14.1 (15.2)	55.2 (58.7)	30.7 (26.1)	▲16.6 ↓ (▲10.9)
建設業	4.0 (4.3)	60.0 (56.6)	36.0 (39.1)	▲32.0 ↑ (▲34.8)	12.0 (4.3)	60.0 (65.3)	28.0 (30.4)	▲16.0 ↑ (▲26.1)
製造業	26.1 (20.0)	43.5 (70.0)	30.4 (10.0)	▲4.3 ↓ (10.0)	21.7 (25.0)	60.9 (65.0)	17.4 (10.0)	4.3 ↓ (15.0)
卸売業	17.6 (17.6)	53.0 (64.8)	29.4 (17.6)	▲11.8 ↓ (0.0)	17.6 (11.8)	47.1 (76.4)	35.3 (11.8)	▲17.7 ↓ (0.0)
小売業	11.1 (15.4)	55.6 (53.8)	33.3 (30.8)	▲22.2 ↓ (▲15.4)	8.3 (17.9)	50.0 (38.5)	41.7 (43.6)	▲33.4 ↓ (▲25.7)
飲食業	16.7 (12.5)	55.5 (56.2)	27.8 (31.3)	▲11.1 ↑ (▲18.8)	33.3 (6.3)	33.4 (62.4)	33.3 (31.3)	0.0 ↑ (▲25.0)
サービス業	6.8 (18.0)	70.5 (74.0)	22.7 (8.0)	▲15.9 ↓ (10.0)	6.8 (18.0)	65.9 (62.0)	27.3 (20.0)	▲20.5 ↓ (▲2.0)

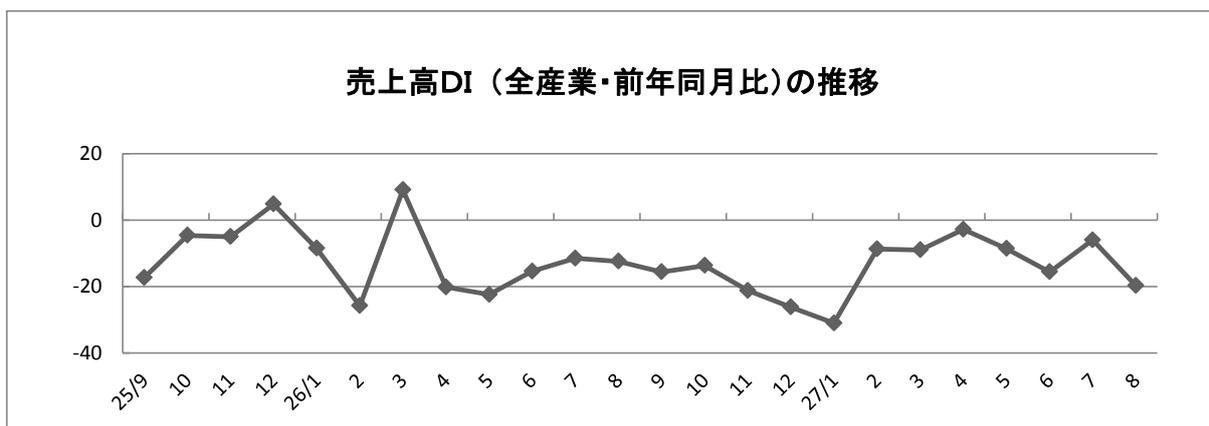
()内は前月データ

※「業況[前年同月比]」・・・前年同月の業況との比較による回答の集計
「今月の水準」・・・事業主の方の主観による回答の集計



2. 売上高DI（前年同月比）

○全産業合計の売上高DIは、前月（▲6.0）よりマイナス幅が13.7ポイント拡大し、▲19.7となった。業種別に見ると、飲食業はマイナス幅が減少し、製造業はプラスから0になった。サービス業、建設業、小売業、卸売業はマイナス幅が拡大した。

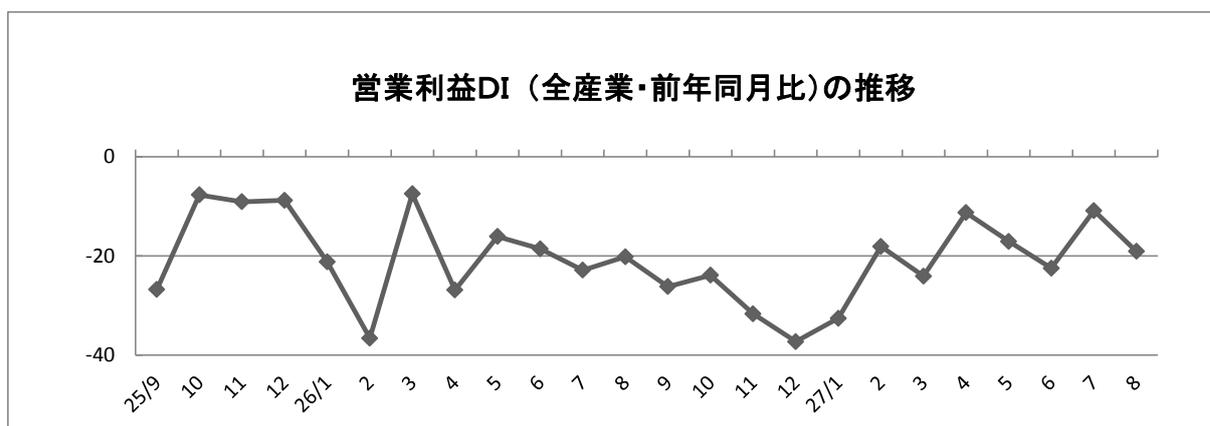


【対前年同月比売上高業種別DIの推移】

	26年8月	9月	10月	11月	12月	27年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
全 体	▲12.4	▲15.6	▲13.7	▲21.2	▲26.2	▲31.0	▲8.7	▲9.0	▲2.8	▲8.6	▲15.6	▲6.0	▲19.7
建設業	5.9	▲14.3	▲13.4	▲6.7	▲17.7	▲37.5	▲31.3	▲6.2	▲15.0	▲16.0	▲12.5	▲30.4	▲40.0
製造業	▲28.6	▲10.5	▲23.5	▲33.3	▲19.1	▲30.0	▲13.0	▲25.0	5.0	0.0	▲13.7	15.0	0.0
卸売業	▲5.9	0.0	▲12.5	▲43.8	▲31.3	▲25.0	▲6.3	▲26.7	0.0	▲25.0	▲18.8	▲11.7	▲11.8
小売業	▲7.7	▲37.0	▲27.0	▲29.2	▲50.0	▲48.3	▲11.5	▲16.6	▲21.2	▲20.0	▲27.0	▲18.0	▲25.0
飲食業	▲44.4	▲50.0	▲20.0	▲30.0	0.0	▲22.2	27.3	8.3	▲8.4	6.7	▲7.1	▲12.5	▲11.1
サービス業	▲10.2	0.0	3.1	▲5.0	▲24.3	▲19.5	▲5.7	5.0	14.7	0.0	▲10.6	10.0	▲20.4

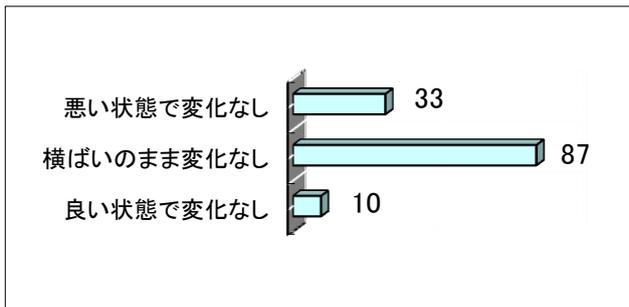
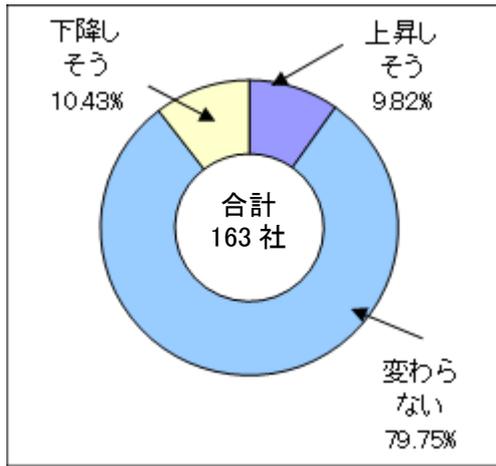
3. 営業利益DI（前年同月比）

○全産業合計の営業利益DIは、前月（▲10.9）よりマイナス幅が8.2ポイント拡大し、▲19.1となった。業種別に見ると、飲食業、建設業、小売業はマイナス幅が縮小し、製造業、卸売業はプラスからマイナスに転じた。サービス業は0からマイナスとなった。



【対前年同月比営業利益業種別DIの推移】

	26年8月	9月	10月	11月	12月	27年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
全 体	▲20.2	▲26.2	▲23.9	▲31.7	▲37.3	▲32.6	▲18.1	▲24.1	▲11.3	▲17.1	▲22.5	▲10.9	▲19.1
建設業	▲17.6	▲42.9	▲33.3	▲13.4	▲35.3	▲37.5	▲31.3	▲25.0	▲20.0	▲32.0	▲33.3	▲39.2	▲32.0
製造業	▲38.1	▲26.3	▲23.5	▲50.0	▲28.6	▲35.0	▲26.1	▲45.0	▲10.0	▲30.4	▲31.9	15.0	▲17.4
卸売業	0.0	▲20.0	▲25.0	▲56.3	▲62.5	▲37.5	▲31.2	▲40.0	▲6.2	▲18.7	▲6.3	5.8	▲11.8
小売業	▲15.4	▲40.7	▲27.0	▲29.2	▲41.7	▲34.5	▲19.3	▲30.0	▲39.4	▲17.1	▲29.7	▲20.5	▲19.4
飲食業	▲44.4	▲60.0	▲30.0	▲40.0	▲36.4	▲33.3	27.3	0.0	▲16.7	▲6.7	▲7.1	▲31.2	▲11.1
サービス業	▲17.9	▲2.7	▲15.1	▲20.0	▲29.7	▲25.0	▲14.3	▲10.0	14.6	▲6.1	▲17.1	0.0	▲18.1



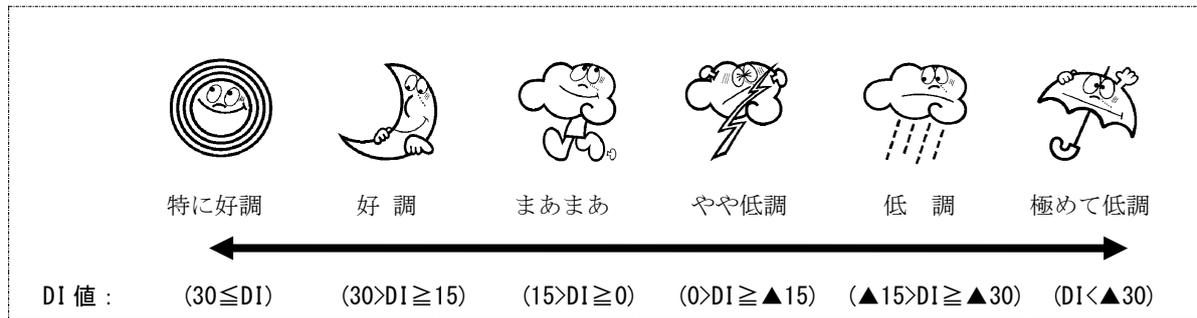
○平成27年9月～平成27年11月の見通しDIは、「上昇しそう」が前月の調査に比べ0.73ポイント増加し9.82%、「下降しそう」が4.37ポイント増加し10.43%となった。業種別に見通しDIは建設業(0)、製造業(▲17.4)、卸売業(11.8)、小売業(2.7)、飲食業(▲22.2)、サービス業(9.1)であった。

➡「上昇しそう」では、「金額の大きい工事が続くため」、「上向いて欲しい」(建設業)、「8月が非常に悪く、それ以上にはなりそう」(製造業)、「季節的要因」「新規取引が増えてきている」(卸売業)、「営業努力」(小売業)、「シルバーウィーク及び秋の行楽シーズンが始まるため」(飲食業)、「9月は車検台数も増えそう」「シルバーウィークなど連休があるため」「観光、婚礼繁忙シーズン、大型イベント(ホテル)の開催」「宿泊、宴会、共に先行きが良い」「新学期も始まり、毎年仕事の依頼がある時期のため」「売り物件を商談中で有望であるため」(サービス業)といった声が寄せられた。

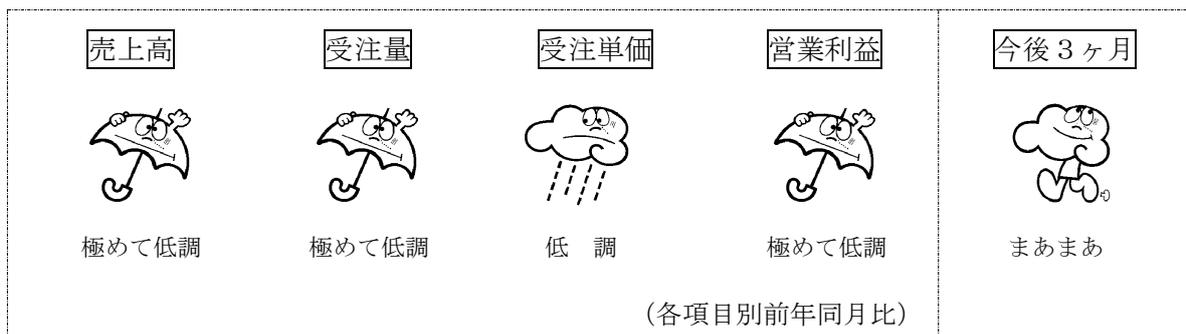
➡「下降しそう」では、「公共工事の受注量の減少」(建設業)、「8月は前倒しの売上があったため、減少する見込み」「見積さえこない」「材料メーカー等関連業者の受注が悪いとの情報が多い」「嗜好品であるお菓子の売上が全般的に悪い」(製造業)、「観光客は秋に向けて多くなってもアベノミクスはない」(小売業)、「お客様のニーズがつかめていない」「8月が、一番お客様が多く来店する時期であるため」「旅行客の減少、地元客は外出しないため」「例年9月、10月は売上が落ちているため」「例年通り」(飲食業)、「これから雨、雪等の気候変化により作業が思う様に進まない恐れがあるため」「毎年、8月が売上のピークであるため」(サービス業)といった声が寄せられた。

業種別景況

<DI君の景況判断>



1. 建設業



【項目別DIの推移】

	26年8月	9月	10月	11月	12月	27年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
売上高	5.9	▲14.3	▲13.4	▲6.7	▲17.7	▲37.5	▲31.3	▲6.2	▲15.0	▲16.0	▲12.5	▲30.4	▲40.0
受注量	▲11.7	▲21.5	▲33.4	▲13.3	▲47.0	▲43.8	▲31.2	▲18.8	▲15.0	▲12.0	▲20.8	▲34.8	▲36.0
受注単価	▲11.7	▲14.3	▲26.6	0.0	▲17.6	▲18.7	▲6.3	▲6.2	0.0	8.0	▲12.5	▲8.7	▲16.0
営業利益	▲17.6	▲42.9	▲33.3	▲13.4	▲35.3	▲37.5	▲31.3	▲25.0	▲20.0	▲32.0	▲33.3	▲39.2	▲32.0
見通し	▲11.8	0.0	▲6.6	0.0	▲5.9	▲6.3	6.2	6.3	▲5.0	4.0	▲8.3	8.7	0.0

<経営者の目・見方・etc>

- 電気工事
 - ・27年も前半が過ぎたが、大きな変化なし。この調子だと年末が大変と思われる。
- 土木工事
 - ・4月から8月の松本管内の元請会社の受注状況はかなり低調であり(土木、建設共)深刻な状態である。9月以降、発注者に強く要請をし予算執行を加速させる様、要望している。
 - ・過去に記憶の無いほど公共工事の受注が少ない、事態は深刻である。
- 管工事
 - ・いつもの年より受注量が少ない。増える見通しは薄い。大型物件が多少あるが地方の職人が使われない。
- 総合建設
 - ・ここにきてやっと公共工事の発注が始まったが、集中したため対応に苦慮した。受注量は少なめである。
- 鉄工
 - ・まだまだ、中小企業はあまり良くない気がする。
 - ・新規の設備機械等問い合わせをすると「受注がうけられない」程の繁忙状況の

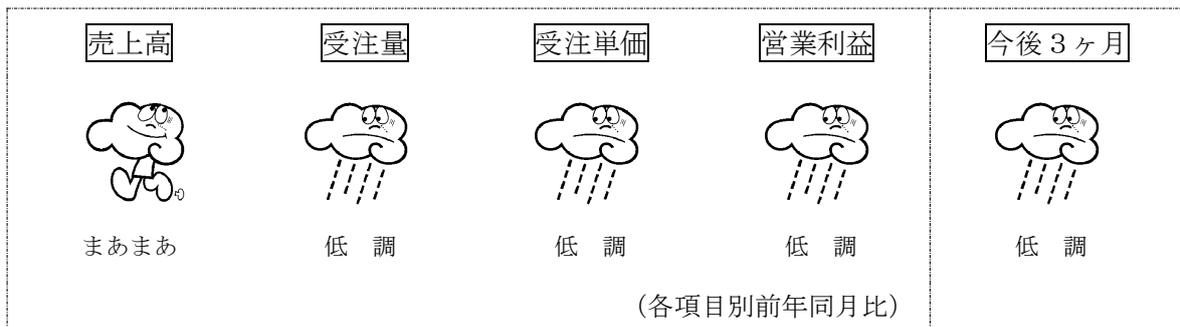
建築工事

土木・水道施設

ようであったが、これからは、納期を圧縮して一転、営業姿勢が変化してきた感がある。鋼材費やスクラップ等の指標も弱い。

- ・鉄骨単価は少しずつ改善が進んでいるが、稼働率は若干動きが悪くなっている。
- ・技術者が不足している。
- ・公共の仕事もないところに決定していた工事が延期するなど不安である。
- ・公共工事の発注が出始めた。

2. 製造業



【項目別DIの推移】

	26年8月	9月	10月	11月	12月	27年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
売上高	▲ 28.6	▲ 10.5	▲ 23.5	▲ 33.3	▲ 19.1	▲ 30.0	▲ 13.0	▲ 25.0	5.0	0.0	▲ 13.7	15.0	0.0
受注量	▲ 23.8	▲ 10.5	▲ 23.5	▲ 44.5	▲ 19.0	▲ 35.0	▲ 17.4	▲ 30.0	▲ 5.0	▲ 4.4	▲ 27.3	▲ 5.0	▲ 17.4
受注単価	▲ 23.8	▲ 31.6	▲ 23.5	▲ 22.2	▲ 23.8	▲ 20.0	▲ 21.7	▲ 30.0	▲ 25.0	▲ 17.4	▲ 31.8	▲ 20.0	▲ 17.4
営業利益	▲ 38.1	▲ 26.3	▲ 23.5	▲ 50.0	▲ 28.6	▲ 35.0	▲ 26.1	▲ 45.0	▲ 10.0	▲ 30.4	▲ 31.9	15.0	▲ 17.4
見通し	▲ 23.8	▲ 10.5	▲ 11.7	0.0	0.0	▲ 5.0	▲ 4.4	▲ 20.0	5.0	8.7	0.0	▲ 5.0	▲ 17.4

<経営者の目・見方・etc>

金属塗装

・お盆等休みが長かったため、生産活動が落ち親会社の当社への受注が落ち込んだ。

小型情報機器組立

・円の動き次第で先の3カ月は見えない。

酒類

・月初めはうだるような暑さで、観光客の動きが悪く、お土産関係の売れ行きが思わしくなかったが、お盆前後は例年並みの入り込みで良かった。逆にお盆過ぎは涼しくなり、降雨が続いたため、客足が鈍った。涼しさを感じられるようになると、外食も若干増え、日本酒の動きもよくなった。純米酒の系統が特に売行きを伸ばしている。

食品・飲料

・天候が悪く、原料の収穫量が大幅減少している。

3. 卸売業



【項目別DIの推移】

	26年8月	9月	10月	11月	12月	27年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
売上高	▲ 5.9	0.0	▲ 12.5	▲ 43.8	▲ 31.3	▲ 25.0	▲ 6.3	▲ 26.7	0.0	▲ 25.0	▲ 18.8	▲ 11.7	▲ 11.8
販売客数	▲ 23.5	▲ 13.3	▲ 12.5	▲ 18.7	▲ 12.5	▲ 18.7	▲ 6.2	▲ 13.3	▲ 18.7	▲ 12.5	▲ 18.8	▲ 23.5	▲ 23.5
販売客単価	▲ 17.6	▲ 20.0	▲ 25.0	▲ 12.5	▲ 18.8	▲ 18.7	▲ 12.5	0.0	18.7	0.0	0.0	0.0	0.0
営業利益	0.0	▲ 20.0	▲ 25.0	▲ 56.3	▲ 62.5	▲ 37.5	▲ 31.2	▲ 40.0	▲ 6.2	▲ 18.7	▲ 6.3	5.8	▲ 11.8
見 通 し	▲ 11.8	0.0	0.0	▲ 6.3	▲ 12.5	0.0	0.0	▲ 20.0	6.3	0.0	▲ 6.3	0.0	11.8

<経営者の目・見方・e t c >

- | | |
|--------|---|
| 機械工具 | <ul style="list-style-type: none"> ・安定した売行きではない。山あり谷ありで、スポット的に設備が出た月は良いが先行きは不透明である。 ・昨年に比べて今月は非常に悪い、景気が冷えてきている感がある。 |
| 各種高圧ガス | <ul style="list-style-type: none"> ・仕入価格が上昇している。 |
| 金属製品 | <ul style="list-style-type: none"> ・市況は弱含みで全体的に後ろ倒しとなっている中、大口案件の話はあるが、決まるまでには至っていない。前月以降、状況に大きな変化はない。 |
| 土産品 | <ul style="list-style-type: none"> ・松本地区の観光地はトップシーズンなのに予想を下回る状況。売上、集客とも大きく落ち込み厳しい夏休みであった。一方、東京、大阪都市部では非常に好調であった。 |
| 青果 | <ul style="list-style-type: none"> ・猛暑日が続き、相変わらずスイカ等の水物の需要に片寄った。施設ハウスなど室温が60度になるなど異常気象が続いている。九州はゲリラ豪雨も多く、今後の出荷物への影響が懸念される。 |

4. 小売業

売上高	販売客数	販売客単価	営業利益	今後3ヶ月
				
低調	極めて低調	低調	低調	まあまあ
(各項目別前年同月比)				

【項目別DIの推移】

	26年8月	9月	10月	11月	12月	27年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
売上高	▲ 7.7	▲ 37.0	▲ 27.0	▲ 29.2	▲ 50.0	▲ 48.3	▲ 11.5	▲ 16.6	▲ 21.2	▲ 20.0	▲ 27.0	▲ 18.0	▲ 25.0
販売客数	▲ 15.4	▲ 44.5	▲ 42.4	▲ 25.0	▲ 37.5	▲ 41.4	▲ 30.8	▲ 40.0	▲ 12.1	▲ 5.7	▲ 24.3	▲ 10.3	▲ 30.6
販売客単価	▲ 11.5	▲ 33.3	▲ 11.5	▲ 20.8	▲ 20.8	▲ 31.1	3.8	▲ 13.3	▲ 6.0	▲ 2.9	▲ 16.2	▲ 12.8	▲ 22.2
営業利益	▲ 15.4	▲ 40.7	▲ 27.0	▲ 29.2	▲ 41.7	▲ 34.5	▲ 19.3	▲ 30.0	▲ 39.4	▲ 17.1	▲ 29.7	▲ 20.5	▲ 19.4
見通し	▲ 3.8	▲ 3.7	▲ 7.7	0.0	▲ 8.3	6.9	3.9	6.7	6.1	2.9	2.7	▲ 7.7	2.7

<経営者の目・見方・etc>

文具

・8月は休みが多い。

ショッピングセンター

・8月は前年と比較して来館客数が増加した。近年、レジャー関連消費で8月の動員シェアも上昇傾向にある。花火大会、海水浴、お盆需要、成人式等目的性の高い消費が伸びている。また、観光客やサッカー観戦客の増加も客数増加の要因の一つと思われる。今後はレジャー、行事関連の消費を喚起していきたい。

パン

・いまだデフレ脱却できていないと感じる。この業界に入る若い世代を育てたい。
・前半の猛暑でどうなるかと不安だったが、後半気温が下がった事で何とか持ち直した。それにしても原材料の高騰はなんとかならないものか。

観光物産

・お盆の人出は多い様に見えたが、来客数は思ったより伸びなかった。一人の購入単価が低い(日本人)。

印章

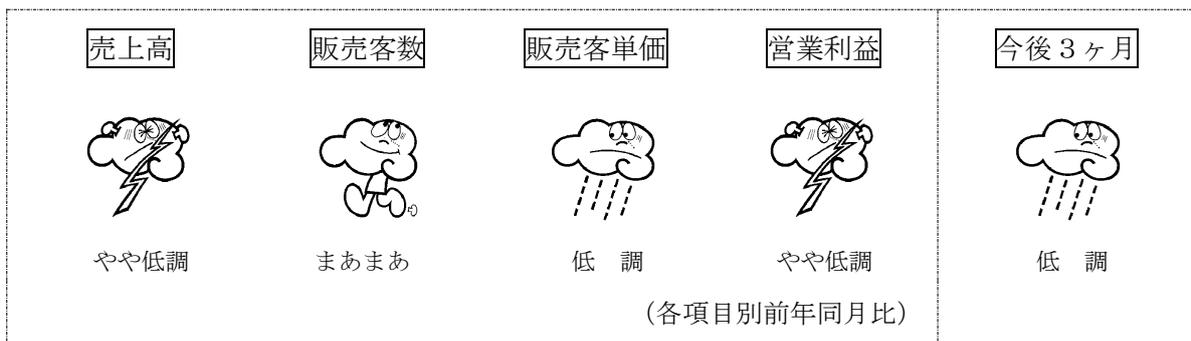
・猛暑で前半は人出が不振、後半は天候不順であった。個人の印鑑登録は8mmから24mmまでの中に姓名か姓、名の組合せでいずれかが彫刻されている印、法人は10mmから30mmまでの印と決まっているが内容は自由。然るに銀行、郵便局は何も決まりが無い、これは印章文化を壊すなにもでもない。
・ここ数年の最悪な8月からは脱却できた。次の季節商品で好調の波に乗りたい。ギフトとして使えるハンコの話聞き、新しい市場として研究、開発していく必要性を感じた。

菓子

・外国からの観光客が多かったが、暑い夏だったので、全般に低調だった。中心市街地は車の渋滞(特に土、日)が多かった。

陶磁器	・月の前半は猛暑、後半は一転して曇りがちな気温の低い日が続き、客足は伸びなかった。松本ぼんぼん、OMF、サマーフェスタと街なかでは毎月のように複数のイベントが行われ、11月の市民祭、えびす講まで続くので、しっかり対応していきたい。
書籍	・同業者の廃業、撤退が続いている。他業種でも消費税を一定期間5%に戻してもらえれば助かるという人が多い。副業が割合順調なので一層力を入れていきたい。
書籍・木のおもちゃ	・厳しい売上が続いている。外商をしながら売上を上げているが解決策が見つからない。
化粧品	・酷暑(前半)、盆過ぎの雨天に左右され、来客数が減った。 ・天候は理由にすべきことではないが、不順な天候が続くと客足は鈍る。
住宅機器	・省エネポイントの効果が表れてきたように思う。
生鮮食品	・毎年お盆までは忙しいのだが、今年は毎日暑い日が続いたため、客数、単価共良かった。
薬局	・8月は電話での問い合わせが多かった。これから涼しくなるので、人の出も良くなりそうだ。

5. 飲食業



【項目別DIの推移】

	26年8月	9月	10月	11月	12月	27年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
売上高	▲44.4	▲50.0	▲20.0	▲30.0	0.0	▲22.2	27.3	8.3	▲8.4	6.7	▲7.1	▲12.5	▲11.1
販売客数	▲33.3	▲50.0	▲20.0	▲30.0	0.0	▲11.1	36.4	8.3	0.0	6.7	▲7.1	▲6.2	0.0
販売客単価	▲22.2	▲40.0	▲30.0	▲50.0	▲18.2	▲11.1	▲9.1	▲8.4	▲16.7	▲13.3	▲21.4	▲25.0	▲22.2
営業利益	▲44.4	▲60.0	▲30.0	▲40.0	▲36.4	▲33.3	27.3	0.0	▲16.7	▲6.7	▲7.1	▲31.2	▲11.1
見通し	▲22.2	▲50.0	▲40.0	▲30.0	▲27.3	0.0	36.4	16.7	16.7	▲6.6	14.3	12.5	▲22.2

<経営者の目・見方・etc>

そば	・8月は20日位までは良かったが、後半は雨の影響もあり客足が止まった。夏休み中も子供連れが多く単価が悪かった。
寿司	・8月前半のお盆までは売上が好調だったが後半は伸びなかった。 ・プレミアム商品券は「中だるみ」で落ち着いている。期限が切れる終盤に期待す

	<p>る。秋雨前線、台風等で海が荒れている。漁が少なくなり、魚の値段も上がってしまう。お客様にはあまり理解してもらえないため、商売が非常にやりにくい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・比較的天候にも恵まれ、地元のお客様には例年並みにご来店頂けた。一方、県外観光客については北陸新幹線延伸の影響など懸念したが、OMFの開催などもあり、松本駅前には平年並みの観光客の来訪があったと感じるが、特に観光地を中心にバス料金の値上げで団体客の動きが鈍いという話もあり、9月のシルバーウィークについては不安が残る。
中華料理	<ul style="list-style-type: none"> ・花時計公園で開催されるサマーフェストが大いに盛り上がり終了したが、お客の流れが一極集中して、人の流れが大きく変わる。イベントで地域が盛り上がるのは大変良いが、各店もそれに対応する企業努力が必要と感じた。
料理	<ul style="list-style-type: none"> ・観光客の支払う金額が減少、お盆の宴会が少なすぎた。家族が揃って外食するという行動が少なくなったような気がする。現実的には景気は良くなっていないようだ。 ・天候に左右され、原材料の仕入れの質と価格が一定せず、お客様に満足頂けたか難しい月であった。
仕出し料理	<ul style="list-style-type: none"> ・暑い日が続き行事もなく、例年通りもっとも売上の厳しい月であった。
カレー	<ul style="list-style-type: none"> ・暑すぎる8月だった。夏休みに入り先月に比べると観光客の数も増えた。特にお盆休み前後は人通りも多く、町も賑わった。
レストラン	<ul style="list-style-type: none"> ・消費税、原材料費の値上げが、価格転嫁できていないので資金繰りが大変である。
郷土料理	<ul style="list-style-type: none"> ・猛暑が続き、徒歩や貸自転車の利用客が少なかった。観光客数、盆休みの来店客等、総体的に減少した。
創作料理	<ul style="list-style-type: none"> ・例年に比べ来客数はあったものの、客単価は上げる事が出来なかった。また、このシーズンはお盆の時期で「仕出し」が増えていたが今年は昨年比4割減となった。

6. サービス業

売上高	販売客数	販売客単価	営業利益	今後3ヶ月
				
低調	低調	低調	低調	まあまあ
(各項目別前年同月比)				

【項目別DIの推移】

	26年8月	9月	10月	11月	12月	27年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
売上高	▲ 10.2	0.0	3.1	▲ 5.0	▲ 24.3	▲ 19.5	▲ 5.7	5.0	14.7	0.0	▲ 10.6	10.0	▲ 20.4
販売客数	▲ 7.7	0.0	▲ 21.2	▲ 15.0	▲ 21.6	▲ 25.0	▲ 11.4	▲ 2.5	12.2	2.1	▲ 14.9	4.0	▲ 25.0
販売客単価	▲ 5.1	▲ 5.4	▲ 6.1	▲ 10.0	▲ 5.4	▲ 11.1	▲ 11.4	▲ 2.5	4.9	0.0	▲ 4.2	▲ 2.0	▲ 18.2
営業利益	▲ 17.9	▲ 2.7	▲ 15.1	▲ 20.0	▲ 29.7	▲ 25.0	▲ 14.3	▲ 10.0	14.6	▲ 6.1	▲ 17.1	0.0	▲ 18.1
見通し	0.0	0.0	▲ 6.1	▲ 2.5	0.0	2.7	14.2	0.0	2.5	▲ 2.0	0.0	10.0	9.1

<経営者の目・見方・etc>

温泉旅館

- ・7月後半から8月の第1週は都会が猛暑となり、出控えから入り込みが落ちた。お盆を中心に中旬までは例年並みの順調な客足だったが、後半は天気が悪く、特に九州に台風が来た終盤は九州からのお客様が軒並みキャンセルとなり例年並みの売上を上げる事が出来なかった。

- ・好天候に恵まれ、観光客、スポーツ団体等宿泊客が増加した。猛暑のため、電気料金の支払いが心配である。

旅館

- ・下旬は天気がくずれたが、ほぼ順調な入り込みだった。

ホテル

- ・FIVBワールドカップ女子バレー2015の開催、OMF開催があった。

- ・天候に恵まれ観光客の出足は良かった。

- ・宿泊は非常に好調。宴会があまり良くない。従って、宿泊の利益率が高かったため、利益は確保できた。

宿泊

- ・中旬以降天候が良くなかった。観光バスの動きは悪くなっているように思える。

マナー講師

- ・8月は夏休みがあり、講座全般が休講、または少なくなった。夏場は依頼も少なく秋に期待したい。すでに9月、10月の依頼は入ってきている。

管理・運営

- ・あまり動きがない。

ホームクリーニング・リネンサプライ業

- ・インバウンドを含め、観光客の入りの増加による売上高が伸びた。

ソフトウェア

- ・ソフトウェア環境のバージョンアップは移行予算の確保だけでなく、慣れ親しんだ操作性が一時的に犠牲になるため、後手に回るユーザも少なくない。ここは、旧式のソフトウェアを使うリスクを回避するだけでなく、業務形態に合わせてシステムを改善する絶好の機会ととらえていただきたい。

機械設計

- ・テーマは出てきたが決まらない。年末に向けてどうなるか心配だ。

自動車整備・板金塗装	・夏休みが多い分仕事量は少なかった。当然、利益も少なかった。次月から忙しくなる事を期待したい。
美容	・今年中に後2回以上お客様に来店していただけるように提案をしっかりと伝える。また、シャンプーやトリートメントなどの商品のアプローチを強化し、売上UPに繋げたい。
測量・設計	・昨年同月より仕事発注が少ない。
ビル・住宅総合メンテナンス	・消費税が10%になった時が不安になる。
タクシー	・前年に比べ客数は増えたが、客単価が下がったため売上はそれほど上がらなかった。
不動産代理・仲介	・池田町和合団地の売地について、池田町にスーパーが開業するとの報道があり、問い合わせが増加した。
自動車整備	・毎月々来客が少ない。
マッサージ	・猛暑が続き、客足が鈍った。
ペットサービス	・来店数、売上、共に前年並みであった。お盆休みのホテルの利用が前年に比べてショートステイであった。9月のシルバーウィークもホテル利用が見込めそうである。
獣医	・例年通り、お盆が過ぎると客足が減っている。今年の夏は酷暑だったが熱中症は少なかった。しかし、ストレスによる消化器障害はいつもより多かった。8月下旬から9月は皮膚疾患が増えてくる。

